

## 浅地高周波（株）環境行動計画

平成21年9月15日

### 取組方針

当社は、高周波誘導加熱技術を利用した受託加工を主たる事業としています。この事業活動に於いては、地球環境に少なからず負荷を与えている事実を認識し、環境保全のための取り組みが重要課題であるにとらえ、事業活動を通じて地球環境の保全に努めます。このため、私たちは、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成21年 9月15日

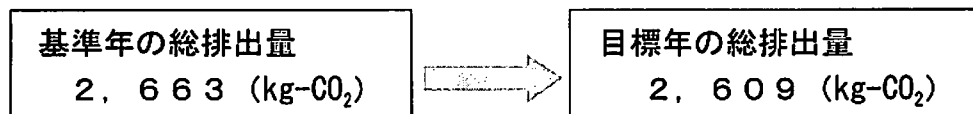
浅地高周波株式会社

代表取締役社長 浅地 博之

### 3 環境負荷の低減目標

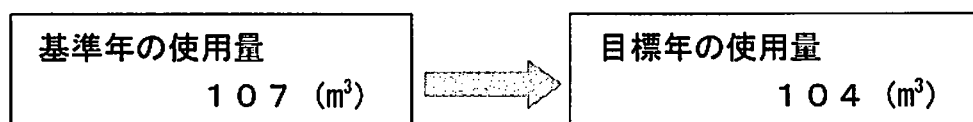
22年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（目標の基準年は、いずれも20年度です。）

【目標1】 二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）を2%削減する。



【目標2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減に努める。

【目標3】 水の使用量（売上高当たり）を2%削減する。



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

環境負荷の低減目標を達成するための具体的な取組項目は以下のとおりです。

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

（製造部門での取組）

- ① 昼休みの休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ② コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ③ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ④ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ⑤ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

（事務所での取組）

- ① 室内温度を適温に設定する。（参考：冷房26度と暖房22度を目安にする。）
- ② 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③ 電球型蛍光灯等を導入し、照明器具の省エネ化を図る。
- ④ 温度計を設置し、空調機の設定温度を調節する。
- ⑤ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑥ カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効果を高める。
- ⑦ エアコンの使用期間中は、毎月1回フィルターを清掃する。
- ⑧ 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源OFFを徹底する。
- ⑨ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。
- ⑩ 節電（適正電圧の設定）装置の導入による効果を検討する。

(車両の使用に関する取組)

- ①アイドリングストップを徹底する。
- ②車両の点検を定期的に行う。
- ③車で移動する場合には、乗り合わせを徹底する。
- ④エコドライブに取り組む。(停車時のアイドリングストップ、ふんわりアクセルに心がける)
- ⑤給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

- ①廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、廃プラスチック)に分別して出す。
- ②シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④再使用、リサイクルしやすい製品を優先的に購入する。
- ⑤詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑥紙のリサイクルに努める。
- ⑦排出する一般廃棄物の量を調べる。
- ⑧廃棄物の発生を抑制する。
- ⑨ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める。
- ⑩製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】 水使用量の削減

- ①水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ②効率的な水の利用に取り組む。
- ③節水に努める。
- ④手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。